

国際交流員ウルリーケ・エアメルの グーテントーク!

Justen Tag!



第2回 | 驚くべき…よく聞かれること: 盛り合わせバージョン

皆さんこんにちは。合併してから、もう2ヶ月が経ちました。新しい組織に慣れましたか? ほとんど変わらないところもあるし、変わったところもあるし、3町合併が皆さんの日常生活にどれくらいの影響を与えているのかは、それによって違いますが、私は引き続き、下野市でも、「グーテン・ターク」のコラムを担当しています。それを再び続けられることに本当に感謝しています。今月もよろしくお願ひします。

旧石橋町国際交流員のごとき、このコラムを28回分書きました。これまで書いてきた話題をもう一度書くのはやめようと思ひます。しかし、日本で生活する中で、私自身、だいたい慣れてはきましたが、

いまだに慣れにくい、どうしても理解できないこともありますので、それを今月のテーマにしようと思ひて、プレーストリーミングをさせていただきます。

私が、冬に一番気になることは「ドイツ人女性は、寒いときはほとんどスカートをはかないのですが、なぜ日本人女性は寒さに耐えてまでスカートをはくのか?」という事です。最近、ある高校を訪問した時、ほぼ納得できるまで高校生が答えてくれました。面白かったです!

でも、答えてくれなかったことがまだいっぱいあります…。

なぜ日本人は鼻腔にとてもよくないのに、鼻をかまずにするのか? 麺を食べる時などは音をたてるのがとても上手なのに?

食事の時、買い物の時、食べられる分だけ頼めばいいのに、使える量だけで買えばいいのに、お金や食品を無駄にするのがよく目に留まります。

安全対策としていろいろあるのに(交通安全週間など)、なぜ横断歩道の手前で車を止めてくれないのか?

逆に、なぜドイツ人がここに述べたことを違う方法でやるのか? 「文化が違うからです。」

これは一番適切な返事だと思ひますけれど、正しい答えより、面白く、伝統や文化に関わる理論を立ててくれれば、私は納得できるかもしれません。

いまでもありませんが、私は

自分でもこうした質問に答えられませんが、理解するというのは、別の問題になってしまうから、完全に理解する必要はありません。なぜかという、お互いに教えたり、教わったり、勉強したり、経験したり、体験したり…: そうすることが、自分の視野を広げて、それが一人一人の個性の発展に重要な役割を果たしていると考えられるからです。それこそ、それぞれの人間が面白い生き物であり、一生の間、勉強することや知ることがたくさんありますので、もし私に教えたことがあったら、どこかで会う機会があれば、または市役所に会いに来てくれれば、とても嬉しいです。お待ちしております。

国際交流員ウリさんの「世界の旅」 第2回

「ドイツセミナー」Part II

◎ドイツ人は何を食べるの? ドイツ料理ってどんなもの?
ウリさんと一緒にドイツ人の食生活を体験しましょう!

おいしいメニューをご用意します。

★日時: 3月11日(土) 午後2時~4時30分

★場所: 保健福祉センターきらら館 調理室

★定員: 一般市民大人20名

★材料費: 1人500円

★申し込み: 3月8日(木)、9日(金)の2日間、電話にて一斉受付します。(両日とも午前8:30~午後5:00の間)ただし、定員になり次第締め切ります。

◎国際交流員を派遣します

国際交流員は、地域レベルの国際化、国際交流の促進のため、一般市民・学生・生徒を対象としたイベントや国際理解教育で自らの経験や自国の文化についての講演などを行っています。国際交流イベント等に国際交流員の派遣を希望する場合は、派遣希望日の1ヶ月前までにご連絡ください。

問い合わせ及び連絡先 生活課市民生活係 ☎40-5555

◎姉妹都市ドイツ・デーツヘルツタールから中学生が来日します!

昨年夏、旧石橋町の第4回中学生海外派遣事業で、石橋中学校の生徒16名が姉妹都市でホームステイ体験をしましたが、その時お世話になった家庭のドイツ人中学生が、このたび下野市を訪れることになりました。一行(引率者含む18名)は3月23日~29日まで滞在し、期間中は石橋中学校訪問や、しもつけ風土記の丘資料館での勾玉作り体験、下野薬師寺跡や歴史館見学のほか、日本の伝統的文化である着物着付けなどを体験します。

市民の皆さまも街の中でドイツの中学生たちを見かけたら「グーテントーク!(こんにちは)」のひとつで、ぜひ気軽な国際交流を楽しんでみてください。



昨年8月 姉妹都市の日本庭園にて